

# 火山調査研究推進本部

## 第9回火山調査委員会 議事要旨

1. 日時 令和8年6月23日（火） 13時30分～17時16分
2. 場所 文部科学省 3F1特別会議室及びオンラインのハイブリッド開催
3. 議題
  - （1）火山調査委員会（定例開催）の令和8年度の予定及び審議内容について
  - （2）長期評価部会の設置について
  - （3）機動的な調査観測の令和7年度の実施報告及び令和8年度の計画について
  - （4）基礎情報調査の令和7年度の実施報告及び令和8～9年度の計画について
  - （5）最近の火山活動に関する報告・評価の確認
  - （6）その他
4. 配布資料
  - 資料 調9－（1）火山調査委員会（定例開催）の令和8年度の予定及び審議内容について（案）
  - 資料 調9－（2）火山の現状の評価における評価文及び資料について（案）
  - 資料 調9－（3）重点的に現状の評価を行う火山の選定の考え方について（案）
  - 資料 調9－（4）長期評価部会の設置について（案）
  - 資料 調9－（5）機動的な調査観測の令和7年度実施報告（機動的な調査観測・解析グループ）
  - 資料 調9－（6）機動的な調査観測の令和8年度計画（機動的な調査観測・解析グループ）
  - 資料 調9－（7）「陸域火山の地下構造・噴火履歴等の基礎情報調査」令和7年度実施報告（産業技術総合研究所）
  - 資料 調9－（8）「海域火山の地下構造・噴火履歴等の基礎情報調査」令和7年度実施報告（海洋研究開発機構）
  - 資料 調9－（9）「陸域及び沿岸域における噴火履歴・火山体構造等の基礎情報調

査（三宅島）」令和８～９年度計画（産業技術総合研究所）

資料 調９－（１０） 「海域における噴火履歴・火山体構造等の基礎情報調査（三宅島）」令和８～９年度計画（海洋研究開発機構）

資料 調９－（１１） 最近の火山活動に関する報告

資料 調９－（１２） 最近の火山活動を踏まえた現状の評価（案）

参考 調９－（１） 火山調査研究推進本部火山調査委員会構成員

参考 調９－（２） 火山調査研究推進本部火山調査委員会運営要領

参考 調９－（３） 火山の現状の評価における評価文及び資料について

参考 調９－（４） 重点的に現状の評価を行う火山の選定の考え方

参考 調９－（５） 機動的な調査観測の実施計画（令和７年３月３日 機動調査観測部会）

参考 調９－（６） 機動的な調査観測の実施計画（令和８年２月２４日 機動調査観測部会）

参考 調９－（７） 令和７年度における噴火履歴・火山体構造等の基礎情報調査について

参考 調９－（８） 令和８年度～令和９年度における噴火履歴・火山体構造等の基礎情報調査について

参考 調９－（９） 火山調査研究推進本部第８回火山調査委員会・第３回機動調査観測部会議事要旨

## ５．出席者

（委員長）

清水 洋

国立研究開発法人防災科学技術研究所

巨大地変災害研究領域火山防災研究部門 参事／

国立大学法人九州大学 名誉教授

（委員）

青山 裕

国立大学法人北海道大学大学院理学研究院 教授

井口 正人

鹿児島市危機管理局危機管理課

（委員長代理）

火山防災専門官（桜島火山防災研究所長）／

国立大学法人京都大学 名誉教授

|         |                                                     |
|---------|-----------------------------------------------------|
| 石塚 吉浩   | 国立研究開発法人産業技術総合研究所<br>地質調査総合センター活断層・火山研究部門 研究部門長     |
| 大倉 敬宏   | 国立大学法人京都大学大学院理学研究科 教授                               |
| 大湊 隆雄   | 国立大学法人東京大学地震研究所 教授                                  |
| 小澤 拓    | 国立研究開発法人防災科学技術研究所<br>巨大地変災害研究領域火山防災研究部門 副研究部門長      |
| 小野 重明   | 国立研究開発法人海洋研究開発機構 地震火山研究部門長                          |
| 川村 誠治   | 国立研究開発法人情報通信研究機構電磁波研究所<br>電磁波伝搬研究センター リモートセンシング研究室長 |
| 神田 径    | 国立大学法人東京科学大学総合研究院<br>多元レジリエンス研究センター 准教授             |
| 佐藤 まりこ  | 海上保安庁海洋情報部沿岸調査課 海洋防災調査室長                            |
| 伊藤 誠記   | 国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課<br>地震・火山砂防室長                |
| (椎葉 秀作  | 国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課長 (代理)                       |
| 篠原 宏志   | 国立研究開発法人産業技術総合研究所                                   |
| (委員長代理) | 地質調査総合センター活断層・火山研究部門 招聘研究員                          |
| 中村 政道   | 気象庁気象研究所 火山研究部長                                     |
| 藤 貴志    | 気象庁地震火山部 火山監視課長                                     |
| 三浦 哲    | 国立大学法人東北大学大学院理学研究科 特任教授                             |
| 山中 佳子   | 国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学<br>減災連携研究センター 特任教授              |
| 矢来 博司   | 国土地理院 地理地殻活動研究センター長                                 |
| (事務局)   |                                                     |
| 阿南 圭一   | 文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 地震火山室長                          |
| 井上 和久   | 文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 火山調査管理官                         |
| 橋本 武志   | 文部科学省 科学官                                           |
| 菅井 明    | 文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 地震火山室調査官                        |
| 古屋 智秋   | 文部科学省研究開発局地震火山防災研究課 地震火山室調査官                        |
| 水藤 尚    | 国土地理院測地観測センター 火山調査官                                 |
| 長谷部 大輔  | 気象庁地震火山部管理課 火山対策企画官                                 |

(説明者)

|       |                                                              |
|-------|--------------------------------------------------------------|
| 及川 輝樹 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター<br>活断層・火山研究部門大規模噴火研究グループ 研究グループ長 |
| 田中 聡  | 国立研究開発法人海洋研究開発機構地震火山研究部門<br>地球内部観測センター海洋底地球物理研究グループ 主任研究員    |

## 6. 議事概要

### (1) 火山調査委員会（定例開催）の令和8年度の予定及び審議内容について

- ・「資料 調9－(1)～(3)」に基づき、検討・審議の上、原案のとおり決定した。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 重点評価文をベースに111の活火山の現状の評価を行う際に、委員の作業負担が過大になることのないよう留意することが必要。
- 重点評価を実施済みの火山において改めて重点評価を実施した場合、新たに調査研究方策に基づく調査観測の計画を積み上げるのではなく、これまでの実施状況を踏まえて整理することが必要。

### (2) 長期評価部会の設置について

- ・「資料 調9－(4)」に基づき、検討・審議の上、設置が承認された。
- ・1. 調査審議事項(1)は、「客観的な評価」について、火山調査委員会との役割分担が不明確とならないよう記載を事務局で検討し、後日メールで照会することとなった。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 長期評価部会における活動度評価の対象として火山活動を整理する期間の長さは、部会において審議することが必要。また、今後の見通しとして示す時間軸の長さについても、部会で審議して根拠を明確にすることが必要。

### (3) 機動的な調査観測の令和7年度の実施報告及び令和8年度の計画について

- ・「資料 調9－(5)～(6)」に基づき、小澤委員より、機動的な調査観測の令和7年度の実施報告及び令和8年度の計画の説明があった。

(4) 基礎情報調査の令和7年度の実施報告及び令和8～9年度の計画について

- ・「資料 調9－(7)～(10)」に基づき、産業技術総合研究所及び海洋研究開発機構より、基礎情報調査の令和7年度の実施報告及び令和8～9年度の計画の説明があった。

(5) 最近の火山活動に関する報告・評価の確認

- ・「資料 調9－(11)～(12)」に基づき、検討・審議の上、直近の評価以降に火山活動に変化が認められた9火山（雌阿寒岳・十勝岳・草津白根山・浅間山・焼岳・硫黄島・桜島・薩摩硫黄島・諏訪之瀬島）について評価文を取りまとめた。
- ・「資料 調9－(11)」に基づき、直前に噴火警報が発表された阿蘇山について活動状況を確認した。委員からの主な意見は以下のとおり。

- 高濃度の火山ガスに関する記載については、今後の評価文の作成時に留意することが必要。
- 「噴火の事後評価」の項目について、評価の対象とする噴火や記載する現象を整理することが必要。

(6) その他

- ・事務局より、今後の予定について説明があった。

(以上)